

自分らしく
たくましく

高等部通信



- ・豊かな感性をもち、心身ともに健やかな生徒
- ・自分で考え、判断し、生活するを楽しむ生徒
- ・お互いの良さを認め合い、ともに活動する生徒
- ・働くことを喜び、自ら社会に参加する生徒

私たちの思いを込めた製品を、お客様に届けます…

作業学習で取り組んできた製品の販売を通して、成就感や達成感を味わいながら働く意欲を培うことをねらいに、1月22日(火)に宮城教育大学で作業製品販売会を行いました。この日に向けて、生徒たちはお客様を意識しながら、丁寧に製作を行ってきました。販売会当日に向けて気持ちは徐々に高まり、生徒たちからは、「お客様に喜んでもらいたい」「私たちの作った製品をたくさん買ってもらえるようにしたい」などと、意欲的な言葉が飛び交っていました。

当日は、販売開始時刻前から、保護者の皆様をはじめ、附属学校園PTAや大学の関係者の方々が列に並んでいただきました。11:00に販売が開始すると、次々と製品が売れ、商品補充が追いつかない場面もありました。「商品の紹介をする」「チラシを配る」「レジを操作する」「かごを渡す」「商品を渡す」など、一人一人が自分の役割を果たしたことで、生徒たちは皆、やり遂げた誇らしげな表情を浮かべていました。また、仲間と一緒に販売会に取り組んだ時間は掛け替えのないものとなりました。保護者の皆様にはお忙しいところ、多数のご参加と製品のご購入に協力をいただき、ありがとうございました。



2号館事務室販売チーム



大学の事務室に勤務する職員の方々に向けて移動販売を行いました。木工班の「ペン立て」を購入した職員の方が、すぐに窓口に設置してくれました。

木工班



新商品のペン立てがあっという間に完売しました。生徒たちは「次はもっとたくさん製品を作りたい」と話し、意欲を高めていました。



陶芸班



色鮮やかな釉薬をまとった器たち。売れた後はそれぞれの行き先で優しい彩りを添えてくれることでしょうか。コーヒークップの人気の上昇中ようです。

総合サービス業班



ペットボトルのキャップを素材にしたメモ帳やアクセサリを販売しました。SDGsの視点を製品に取り入れ、お客様にアピールしました。

